

## 新人大会に向けて

### ～自己を磨く学びの場～

#### ○試合前「真の敵は己（おのれ）」

- ・戦う前から、緊張の重圧に負けていては、チームや自分の力を発揮できない。
- ・初舞台で緊張するのは皆一緒である。先に落ち着いたものが良いプレーに結びつく。
- ・重圧に負けないためには、やるべき準備を怠らないこと。特に、試合前のアップや対戦相手に応じた戦い方（戦術）、自分の役割（やるべきこと）をしっかりと整理・確認しておくことが重要である。
- ・気持ちの強い人は、自ら進んで声をだし、仲間にプラスの声かけをするなど、チームや個人が普段の力を発揮できるように努める。

#### ○試合中「熱く冷静に、苦しいときこそ仲間と共に」

- ・自分一人では何もできないことを肝に命ずる。上手くいかないことを言葉や態度に出さない。
- ・良いプレーは、チームメイト全員が気持ち良くプレーすることから生まれる。チームの力、パフォーマンスを発揮するには、互いにチームメイトを思いやる気持ちが大切である。
- ・ゲームは生き物、上手くいかないときこそ、声をかけ合い、励まし合う。“ドンマイ”精神で踏ん張ると、そのうち良い流れがくる。
- ・自分の感情を押さえきれずに、チームメイトや審判の判定にぶつぶつと不満を言うのは、チームのムードを乱す最低の行為であり、その時点でゲームセットといえる。

#### ○試合後

- ・勝とうが負けようが、共に戦った仲間と讃え合う。
- ・勝とうが負けようが、冷静に大会を振り返り、今後のチームづくりに生かす。
- ・応援してくれた家族や先生等に感謝し、その気持ちを必ず伝える。

#### ○大会中「グッドマナーは、チームの運命を変える」

- ・勝っても負けても、常に謙虚で礼儀正しく、審判や他校の先生、協会関係者から認められるチーム、選手（人）であること。

※あいさつや正しい言葉づかいができることは、人としての常識（当たり前）である。

※選手の前に、人であること。

- ・気づいたら観客席のゴミを拾うなど、大会参加への感謝の気持ちを行動で示す。

▼大会以降、練習試合をしてもらえないチームになっていないように。

#### ○その他

「キャプテンの気持ちを考え、苦勞を受け止める。」

- ・キャプテンに指名されたばかりに大きな責任を背負う。
- ・いつも誰よりチームのことを思い、どうしたらまとめることができるかを考え、苦勞している。

「3年生へ」

- ・温かい声援、アドバイスで後輩を支えてほしい。
- ・安中の一体感、後輩を大切に思う心、礼儀正しさなどを示してほしい。